

【めむろ未来ミーティング】

種類:テーマ別(新嵐山改革)

令和2年6月25日(木)

19:00～20:20

国民宿舎新嵐山荘2階研修室

■参加者 15人

■芽室町 町長、商工観光課長、商工観光課長補佐(新嵐山改革担当)

■記録 玉堀、池田

**■ただちに対応・検討が必要な事項は、ありません。
いただいたご意見を今後の新嵐山改革に生かして
まいります。**

- 1 開会
- 2 町長あいさつ
- 3 町からの説明事項

『新嵐山活用計画 Rural inn ザ・スカイパーク』

- 4 意見交換

【意見】

パークゴルフ場がかなり縮小される件について。私もパークゴルフをやるが、芽室町で唯一の36ホールであり、それが18ホールになると面白みがなくなるというか、パークゴルフをしている高齢者などにとって寂しいと思う。

もう一つは、新規フィールドで民間と連携し、何か行うという件について。運動広場がなくなるということだが、冬場に障がいを持つ方の運動会でこの場所を使用している。これは雪を使った遊びというくくりになるかを検討したのか伺いたい。

【商工観光課長補佐】

パークゴルフの関係について、6月12日パークゴルフ協会に新嵐山のパークゴルフ場の縮小を考えていることを伝え、意見交換をした。その中でも、芽室町唯一の36ホールを有するパークゴルフ場ということで、できれば維持してもらいたいという意見があった。ただ、その際にも説明させていただいた通り現状を維持することは経費的にも難しくなっている。運営会社の方からも夏場の安定した収益確保として新たな展開をしなければ経営を続けていくことが厳しいと話を伺っているところである。町としては36ホールを全てなくすという判断はしていない。今回トライアルで行う状況を踏まえながら、実際のレイアウト等を考えていきたいと思っている。

【町長】

パークゴルフ愛好者の方の想いというのは良くわかっているつもりではある。私もパークゴルフを否定しているわけでは全くない。今までも集客の面では非常に大きい役割を果たしてきたと思っている。先ほど説明した通り、Aコースが日陰ということもあり、芝の育成やコース上の維持はかなり厳しい部分があった。とはいいつつも他のコースの部分で工夫をしてコースを確保したいと思ったが、やはり36ホールというのは現実には厳しい。パークゴルフ協会の方と話した時も、やはりAコースの芝の養生や修繕が懸念された。そこで今回トライアルという形でデイキャンプをやってみた上でパークゴルフ場のあり方を検討したい。今後も愛好者の方などに意見を聞きながらやっていきたい。

また、7月に美生川河川敷のパークゴルフがオープンすることになっている。愛好者の方にはそちらも使用してもらいながら健康維持等をしてほしい。

そして、今後はコースの工夫をしていく。長さを少し短くしてホールを増やす等も検討していきたい。ただ、申し訳ないが縮小は避けられないと考えている。

運動広場については、これまで使用している団体の方と相談してもらい、代替えの場所を確保するなど調整しながらやらせていただきたい。

【意見】

オートキャンプ場が廃止になると資料に書かれているが、美生川のキャンプ場を今後何かに使う予定はあるのか。

【町長】

キャンプ場機能については、移転する考えで進めている。オートキャンプ場の使い道は、公として手をつける予定はないが民間の事業者さんの財源を使い、何かやっていただけなのであれば検討したい。今後検討し、良い活用方法があれば活用していきたいと思っている。

【意見】

現在ドッグランが併設されており、私の周りの方がそこを利用するという話をよく聞く。この計画の中にドッグランのことも触れられているがもう少し目玉みたいな施設になればいいなと思っている。例えば、ペットと一緒にバーベキューができるだとかというのを併設してみるなど。ペットを飼う方が最近多くいて、外に遊ばせに行くときは帯広からも近い嵐山を利用する方もいるので、そのことも計画の中に入れてみてはどうか。

【町長】

ありがとうございます。私もまったく同じ意見である。犬を飼っている方々のネットワークがすごいと聞いたことがある。例えば、芽室にすごいドッグランができたとなると全道から来られるというような話を聞いている。栗山町の施設が素晴らしいとも聞いている。ドッグランの場所も今後違う場所で検討している。使用料をいただけるぐらい良い施設を作り、収入源となるようにしていきたいとも考えている。

【意見】

具体的アクション2のテーマの中に非日常を提供したいというコンセプトが書かれている。説明を聞いた限りでは、芽室町のリゾータ的な目標があるのかなという印象を受けた。リゾートだとまさに非日

常が期待できる。ですが、女性の立場から言うと非日常となると家事を忘れて、手ぶらでグランピングやキャンプができ、芽室産の食材を使ったかなりクオリティの高い料理を食べれるなどして堪能できるのが非日常である。ただ、現行の食べ物のクオリティを見ると計画のようになるのかそこは少し疑問がある。道外にも誇れるようなクオリティの高いものを選んでほしいという気持ちがある。

【町長】

ありがとうございます。この周辺に人工的な建築物をどんどん建ててというリゾートは考えていない。あくまでも、自然を生かしながらを考えている。去年、嵐山に1泊するトライアルイベントをやったことがあるが、その時にしつらえを変えただけでかなり変わった。まずはそのようなところを目指したい。それが、非日常につながっていくことを狙っている。

料理の部分に関しては、色々な改革をしないとイケないと思っている。ただ、お洒落な料理が全てではなく、素材などもしっかり吟味し、農畜産物も生かせるようにやっていく。食は特に女性の場合ポイントになるところなので、新しい支配人と検討していきたい。

【意見】

キャンプ場の件。冬のキャンプというのが今流行りである。特に SNS のインスタグラム等で投稿する人も増えている。ポロシリではスノーピークというキャンプメーカーが入り運営している。例えば、SNS 新嵐山にそのようなキャンプメーカーがお店をだしてもらおう。そうすると泊まらないにしてもキャンプ道具を見に来る人もいる。自分がそうである。そして、その際にキャンプサイトを見て泊ってみようかなという考えも生まれる。なので、泊まりたいと思わせるような、人を呼ぶような場所になればいいと思う。また、夜はお風呂に入れるとなお良いと思う。その点では、新嵐山はお風呂もあり、その部分のメリットもある。今だと若い人たちがどんなところに泊まっているのかを見るのが人を呼ぶには良いと思う。そういう面はどう思っているのか伺いたい。

【商工観光課長補佐】

ありがとうございます。今後トライアルする、ワンデイキャンプでギアの展示等をしていきたいと思っている。また、年中キャンプを楽しめるような冬のキャンプというのも数年前から検討している。今回のトライアルが上手くいけば引き続き冬のキャンプをしていきたいと今の支配人と話をしている。ご意見あったようにそういう部分で新たに人を呼び、泊まってみたいと思えるような環境を作っていきたい。

【意見】

展望台とリフトの改装について。今後展望台の道路はどうなるのか。リフトを通年で営業するときに車の規制等の構想はあるのか。

【町長】

展望台まで行く道路は林道という位置づけになる。その部分を拡幅というのは現実的に厳しい。頂上は夏にも行きたいので、夏場のリフト運行が1つと、もうひとつは徒歩の方法がある。また、現在車で上がるところは電動アシスト自転車でも登れるということも分かった。ただ、林道なので車を規制するのは難しい。

【意見】

農業をしている者である。実はこの周辺的环境、端的に言うと悪臭がすることがある。難しい問題ではあるが、国の補助金を使用し匂いを取り除く薬を撒いたりしている。環境問題について町長の考えを聞きたい。

【町長】

初めて聞いた話である。新嵐山を利用する方からも聞いたことがなかった。今後どんどん人が増えていったときにどうなるのかという懸念はある。対策といってもすぐ出るものでもないが、ただそのような懸念があることを頭に入れながら考え、1つの課題としてとらえる。

【意見】

美生ダムは見学できるのか。

【町長】

ふらっと行き、見学できるものではない。例えば、団体等であらかじめ話をいただければ職員が付き、説明することなら可能である。また、美生ダムを見学できる場所にするには考えていない。

【意見】

アクションプランの名称について。わざわざリユラルインザスカイパークとしているが、なぜそうしたのか。

【商工観光課長補佐】

ルールルという言い方が正しいが、ルールルで検索すると、この施設以外がでてくる。フランスなどの地域ではリユラルという呼び方もしている。また、リユラルインとすると検索でトップページに載ることがあらかじめわかった中で、広くトップにくること色々ところに知らしめたいという想いがあるため。

【意見】

キャンプ場は町民をメインにして集めるのか。町外をメインとするのか。町民が利用する場合町民割みたいのはあるのか。なければ検討してほしい。

【町長】

基本的には、町民も町外の方も同じ扱いにしようと思っている。ただ、進めていく中で検討しなければならぬと思っている。まずは、交流人口を増やそうというのが目標である。なので、最初は差をつけずに考えていきたい。だが、町外からあまりにも来すぎて町民の方が使えない状況になっても困るのでその場合は検討しないとしない。

【商工観光課長補佐】

加えて現在、社会教育課の子ども会と連携して、例

えば子どものうちからこのフィールドで楽しんでもらうことなどを考えている。

【意見】

今のような考えならなおさらだが、町民が利用してこそ、その魅力を外部に発信すると思う。町外の方が言っても町民が言っていないとあまり魅力を感じられないと思う。そして、子どもの親が SNS などによく発信するのでそういう方を活用してどんどん魅力を発信してもらえるようにすれば良いと思う。

【町長】

そのとおりである。スタートとして町に住んでいるファミリー層などがどんどん利用し、その後 SNS 等で拡散していただくなどの流れになったら良いと思っている。



20:20 終了